

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 管理者 (1名) 介護職員 (5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	0人	8人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>現在できていること (申し送りを利用した情報共有、サービス開始時の利用者様への配慮) を継続して行う。</li><li>初めての利用での不安を軽減できるように、職員の写真や自己紹介を掲載した職員紹介カードをお渡しする。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>「できていること」は継続して行うことができた。</li><li>職員紹介カードをお渡しすることはできなかった。だれがどのように取り組むかを決めなかったため、実施に至らなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3人	4人	1人		8人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1人	4人	3人		8人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4人	3人	1人		8人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3人	3人	1人	1人	8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>慣れていない時期の気遣いに関しては、本人と他利用者様との会話を取り持つことや、なるべく話しかけて疎外感が出てしまわないように配慮されているためできていると思う。</li><li>ミーティング等を通じて事前に情報やニーズを共有出来ていると感じる。</li><li>利用時、本人とのコミュニケーションを通して、思いや生活状況について情報収集を心がけた。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>支援開始時の利用者様やご家族様の不安の軽減を図る工夫が足りていない。工夫をするにあたって、誰がどのように取り組むのかが決められていないことが原因だと思う。</li><li>家族・介護者の意向や不安についての情報収集が不足している。申し送りを主な情報収集の手段にしており、ケース記録やケアプラン等からの情報収集に消極的であるため。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>初めての利用での不安を軽減できるように、職員の写真や自己紹介を掲載した職員紹介カードをお渡しするという前年度の改善計画に再度取り組む。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 管理者 (1名) 介護職員 (5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4人	4人	2人	8人

前回の改善計画  
・日常的な支援を行うことで見えてくる利用者様の「～したい」を発見・代弁できる力を身につける。そのために、利用者様が「～したい」を言いやすい環境作りに取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・改善計画に取り組んだことで、利用者様の「困りごと」を発見し、代弁するスキルはアップした。「～したい」を発見・代弁する能力は育ち始めたところであり、継続して取り組み、ケアの質の向上を目指したい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7人	1人		8人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	6人	1人		8人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1人	4人	3人		8人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2人	3人	3人		8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・実践した内容は申し送り時に報告し、統一したケアに向けて連携が取れていると感じる。今後に向けた改善なども同様に職員同士で意見を出し合っている。  
・FACEシートで確認したり、日々の会話を通して、利用者様が何に興味を持っているのかを考えるようにしている。  
・申し送りや先輩スタッフより、必要な情報収集を心がけ、適切な指導を受けることができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・利用者様の「～したい」を発見する事ができていない。日常的な支援や目の前の状況のお手伝いを行うことに精一杯になってしまい、その先の本人の目標や「～したい」までを意識した支援や関わりを行なえていないと思う。  
・目標など、プランの確認は居室担当であれば把握していることも多いが、それ以外の利用者となると曖昧になっていると感じる。課題について具体的にどうした行動をとるべきか職員間で曖昧になっているためではないかと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・職員が利用者様の「～したい」に深く関心を寄せることの意識づけを図るために、利用者様の「～したい」を聞き取りする日を設ける。  
・新しく導入した介護記録ソフトを活用して、聞き取りした「～したい」をすぐに介護記録に入力できる環境作りに取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者(1名) 介護職員(5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		1人	3人	4人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様ごとにA3サイズのシートを作成し、1日の過ごし方や知り得た「以前の暮らし方」を記入して、収集した情報を一目でわかるようにする。その情報を活用して、利用者様が主体性をもって生活できる支援を目指す。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集は職員が各々で行っていて申し送り等で情報共有を図っているが、一目でわかるようにまとめることができていない。「だれが」「どのように」といった取り組みの詳細を決めなかったことが原因と考えられる。また業務時間内に情報をまとめる時間を確保することの難しさという課題も見えてきた。情報をまとめるツールは必須であるため、今後取り組むためにどうすればよいのか検討していく。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1人	2人	3人	2人	8人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	3人	1人		8人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6人	2人		8人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4人	4人			8人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	4人	2人		8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の状況に合わせた支援ができるように、職員間で情報は都度共有するよう取り組んでいる。</li> <li>本人の様子で変化があった際は他職員にも報告して情報の共有を図れていると感じる。</li> <li>本人のその時の表情や様子から感じたことを言語化、都度、申し送りやミーティングを通じて職員間で情報共有する事が出来ていると感じる。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>共有した情報を可視化できていない。情報の可視化について、必要性や重要性が個人によって異なるため取り組むに至っていないと思われる。</li> <li>以前の暮らし方などの情報収集がうまくできず、把握することができていない。会話で得られる情報が少なく、利用者様ご本人はもちろん、ご家族から得られる情報にも限界があり、個別に10個以上の情報を集めることが難しく感じる。</li> <li>知り得た情報を一まとめにして管理できていない。情報収集など最初は実施していても時間が経つにつれてメモなどしなくなってしまう、完全に忘れてしまうため。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様の生活歴等の知り得た情報の管理を、新しく導入した介護記録ソフトを活用して行い、必要な時に即座に情報を見ることができるようになることで利用者様への理解を深める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者(1名) 介護職員(5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人			8人

前回の改善計画  
・訪問時等でご近所の方とお会いした時は、つながることを意識する視点をもって、挨拶や会話をする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・つながりを作ることを意識して挨拶や会話をするように心がけたことで、特にご家族様との関係性は良くなったと感じている。ご家族様以外の、利用者様と関わりのある方との間にも良い関係を築き支援の質を高めることができるように、取り組みを継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7人	1人		8人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6人	2人		8人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4人	4人		8人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3人	3人	2人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・訪問時や送迎時、本人の生活スタイルや人間関係も意識しながらご近所の方との挨拶や会話をする事ができている。  
・家族への支援も含めて本人と家族の関係が保たれるようにできていると思う。  
・ご本人、ご家族のお話から情報を確認し、生活スタイルや人間関係、事業所の関わりがない時間の様子を把握している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・事業所が直接関わっていない時間帯の過ごし方の把握ができていない。本人からのお話で得られる情報に限界があり、特にお一人暮らしをされている方の生活状況は把握するまでに時間を要してしまったり、把握が難しい状況もある。  
・個別のケースに関して、地域の中での生活者としての情報収集ができていない。個別のケースについて、積極的な情報収集の意識が不足していたため。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・利用者様の生活スタイルの理解を深めるために、ケアプランの週間サービス計画書を見ることの意識付けをする取り組みを行う。  
・週間予定表に詳細な1日の過ごし方を記載できるようになるために、ケアマネと介護職員の連携方法を確立する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者(1名) 介護職員(5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人		8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の情報を得た時は、その社会資源はどんな時にどのような利用者様に活用できるかを考える癖をつけるように意識し、時間に余裕があれば申し送り時等に話す機会を持つ。今できている柔軟な支援を継続し、社会資源も活用してさらに柔軟な支援が行える事業所を目指す。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の情報をCMから介護職員に提供するようにしたことで、社会資源の知識は以前に比べると増えている。ただ、その活用について話し合える機会を持つことができていないため、職員によって社会資源の活用についての理解度に差がある。すべての職員が社会資源についての知識と活用に自信があって、支援に活かすことができる事業所になれるように、今後も取組みを継続する。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	6人	1人		8人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	7人			8人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4人	3人	1人		8人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4人	3人	1人		8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員が利用者様と関わって気付いたことや変化などを日々申し送りにて報告、共有することができており、可能な範囲で柔軟な支援ができている。</li> <li>事業所では支援が難しい場合で社会資源を利用し、可能な範囲でニーズに沿ったサービス提供が出来ていると感じる。</li> <li>ミーティング、毎日の申し送りで利用者様の変化、その時に必要な支援の提供ができている。通い・訪問・宿泊も柔軟に対応し、急な対応にも応じることができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険の趣旨を考慮して、事業所以外の社会資源をもっと活用したほうが良いと考えているが、事業所に対応できる範囲の要望が多く、また社会資源の情報提供をご本人様やご家族様にしても、利用に至らないため、活用に至っていない。</li> <li>利用者に変化が起こった時など、必要な経過記録が残されていなかったり、曖昧になったりしている。経過記録のルールや記載しなければいけない点など指導が上手く行き届いていないことが原因。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟な支援が行えるように、利用者様の「よい変化」や「ストレングス(強み)」をとらえる力を伸ばす。</li> <li>月1回の定例ミーティングにおいて、利用者様の「よい変化」や「ストレングス」について確認する場を設け、全職員が情報を把握できるようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

6. 連携・協働

メンバー 管理者(1名) 介護職員(5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			1人	7人	8人

前回の改善計画  
・コロナ禍における地域行事参加の仕方を検討する。地域行事について、状況が許すようになった時は積極的に参加をする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・今年の5月以降、地域行事が徐々に再開しているが、依然コロナウイルスの感染者数が多い状況のため参加は見合わせている状況が続いている。どのような行事が行われているかの情報収集はできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人	2人	1人	4人	8人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人		2人	5人	8人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			2人	6人	8人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				8人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・その他のサービス機関と連携をとって、支援にあたることができている。  
・地域行事への参加が可能になった際の参加の仕方などは検討することができる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・登録者以外の高齢者や地域住民の方との関わりが持てていない。そういった関わりの機会を作り出すノウハウを持った職員がいないため、方法がわからないことが原因。  
・地域の各種機関、団体の活動やイベントには参加できていない。施設の感染対策基準があり、参加のできる状況となっていないため。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・町内会に参加できるように働きかけをして、地域とのつながり作りに取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

7. 運営

メンバー 管理者(1名) 介護職員(5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?			2人	6人	8人

前回の改善計画

- 運営推進会議が以前のように対面で開催されるようになったら、介護職員が参加をし、地域とどのようにかかわっているかを学び、理解を深める。
- 地域活動が再開され、参加できる状況になったら積極的に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 今年度の運営推進会議はすべて書面で行われたため、介護職員の会議への参加はできず、地域との関わりについて運営推進会議を通じて理解を深めることはできなかった。今後、対面で運営推進会議が開催された時は介護職員が参加をする予定。
- 地域活動は再開され始めたが、コロナウイルスの感染予防対策により参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2人	2人	1人	3人	8人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	3人		2人	8人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人		1人	4人	8人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			2人	6人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- こういう事業所にしたいという話を、スタッフ同士で意見を言い合うことができている。
- 利用者様からの要望は職員間で共有し解決できるようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- コロナウイルスの感染対策のため地域との関わりを増やす機会もなく、協働した取組みができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 職員の「やりたいこと」「改善したいと思うこと」を月1回の定例ミーティングで提案する機会を作り、積極的に運営に携わることができる環境にする。提案されたことについては4か月を期間として評価をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者(1名)介護職員(5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	1人		8人

前回の改善計画	・接遇面の質の向上に取り組んでいく。利用者様、ご家族様、地域の方がみていて気持ち良さを感じるような服装・言葉使い・態度をとれるように取り組みをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・服装・言葉使い・態度について、他者にどのように見えるかということへの意識が高くなり、接遇の質が向上した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人	3人	4人		8人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	1人	2人	4人	8人
③	地域連絡会に参加していますか		1人		7人	8人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	5人	1人		8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・自分の服装・言葉使い・態度がどう見えるかを考えて行動する癖がついた。 ・研修は職場内、外に関わらず参加することができている。参加して得た情報は他職員に共有し、事業所全体の質の向上につながるよう努めている。 ・どんなリスクが予想されるか職員同士で話して意識づけることができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修、地域連絡会への参加はほとんどできていない。 ・接遇について各職員が統一した内容で学べているわけではないので、各自の解釈になっていて、正しい接遇が完全にはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・「ヒヤリハット」としてあがった出来事について、これまでは事故防止の対策を講じた場合、何も起こっていないという状況になるため介護記録に記載していなかったが、新しい介護記録ソフトを活用すると簡単に記載ができ、その頻度についてもデータ集積が容易である。今後は「ヒヤリハット」の対策を講じた時に介護記録に記載をするようにし、発生頻度等の把握をして、リスクマネジメント能力の向上を図る。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 9月 8日 (13:00~13:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者(1名) 介護職員(5名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人		8人

前回の改善計画
・プライバシーの配慮や個人情報の取り扱いにおいて、できていない時には率直に伝えることができる職員関係を築くための取り組みをする。伝える時は、何が不適切であるか必ず理由も伝え、人権やプライバシーについて理解を深めることができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・何が不適切か理由を伝えるようにした結果、職員同士でどこが問題なのかを話し合える職場環境となり、人権やプライバシーについての理解が深まった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8人				8人
②	虐待は行われていない	8人				8人
③	プライバシーが守られている	5人	3人			8人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2人	2人	3人	1人	8人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3人	5人			8人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待は行われていない。 ・プライバシーに配慮できており、個人情報も外部には持ち出せないようになっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・個人情報の扱いに関しては、書面などが人の目に触れないようにしたり、申し送り時などは配慮するように取り組んでいるが、だんだんと注意が薄れて来たり、時間に余裕がなくなると雑な扱いになってしまう場合もある。意識している間は取り組んでいるが、その意識が薄れてくると途端にできなくなる。職員同士で声を掛け合って意識するようにしているが、取り組んでいるルールが以前のまま継続されていることもひとつの理由ではないかと考えられる。状況にあったルールの見直しや、定期的な評価が必要と感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・個人情報の取り扱いについて定期的にチェックする機会を設けることで、職員の個人情報の取り扱いに対する意識を高め、常に適切な個人情報の取り扱いができている事業所を目指す。	